



# 日耳鼻医会 FAXニュース

平成29年3月8日発行 第248号

## ◎第42回臨床家フォーラム案内

・創立50周年記念式典・祝賀会 平成29年7月15日(土)

記念式典・記念講演: 午後4時半～

記念祝賀会 午後6時半～

会場: 京王プラザホテル南館3階&5階

記念講演: 「先天性難聴児および高齢者の難聴と人工内耳手術～聴覚の獲得の成果と課題～」

加我君孝先生(国立病院機構東京医療センター  
名誉臨床研究センター長)

## ・フォーラム記念公開講演

平成29年7月16日(日) 午前11時50分～午後1時

会場: 日経ホール(千代田区大手町1-3-7日経ビル)

講演: 「地域医療について」

釜谷敏先生(日本医師会常任理事)

・懇親会: 講演会終了後、日経ホール6階

## ◎東京都耳鼻咽喉科医会学術集会講習会案内

(第42回臨床家フォーラムの前に行います)

日時: 平成29年7月16日(日) 午前9時～午前11時30分

会場: 日経ホール(千代田区大手町1-3-7日経ビル)

\*「アレルギー診療に対する安全対策」(共通講習申請)  
大久保公裕先生(日本医科大学教授)

\*「認知症予防の補聴器の適応(仮)」(領域講習申請)

小川 郁先生(慶應義塾大学教授)

受講された先生方は、(社)日本専門医機構の耳鼻咽喉科領域講習1単位および専門医共通講習(必須項目)1単位を取得できます。

## ■慢性鼓膜穿孔薬で米社と独占契約

アステラス製薬、前臨床試験結果良好により

アステラス製薬は1月31日、米オーレーションバイオテックが創製した慢性鼓膜穿孔治療薬「AU-935」に関して、全世界における開発・商業化に関する独占的ライセンス契約を締結したと発表した。アステラス製薬はAU-935の開発・商業化を行い、これらに関わる費用を負担。また、オーレーション社に対し契約締結時一時金のほか、開発の進捗に応じた対価、正味売上高に対する一定率のロイヤルティを支払う。

アステラス製薬とオーレーション社は2015年10月にAU-935に関するライセンス契約締結オプション付きの評価契約を締結。慢性鼓膜穿孔を適応症とする前臨床試験において良好な結果が確認できたため、アステラス製薬がオプションを行使した。

鼓膜穿孔が長期間にわたって塞がらない場合、慢性鼓膜穿孔となる。現在は手術のみが慢性鼓膜穿孔を治す手段とされている。

AU-935は米国スタンフォード大学によって創製されたヘパリン結合性上皮細胞成長因子様増殖因子(HB-EGF)を有効成分とする。この因子は増殖因子EGFファミリーに属し、鼓膜再生のプロセスにおいて重要な役割を担っている。AU-935は慢性鼓膜穿孔の手術に代わる手段として耳内局所投与薬での開発が行われている。

## ■「ベーチェット病」発症のメカニズム解明

横浜市大など

難病「ベーチェット病」の発症に関わる複数の原因遺伝子を、横浜市立大が参加する国際チームが新たに見つけ発症メカニズムを解明したと9日までに発表した。米科学誌ネイチャー・ジェネティクス電子版に掲載された。

チームに参加した横浜市立大の水木信久教授は「患者の遺伝情報に基づいた効果的な治療薬の開発が期待される」と話している。

ベーチェット病の国内患者数は約1万9千人。水木教授らは米国立衛生研究所やトルコ・イスタンブール大などと共同で、ベーチェット病の患者が多い日本やトルコ、イランの患者3477人と健常者3342人の遺伝子を解析。免疫反応に関わる6つの領域で発症に関連する遺伝子を特定した。このうち1つを詳しく調べた結果、患者には皮膚の防御に関わるタンパク質が少なく、炎症を起こすタンパク質が過剰に出る傾向があった。防御機能が低下した皮膚から病原体が侵入、全身で炎症反応が起き、ベーチェット病の発症につながるとみられる。

また難病のクローン病や潰瘍性大腸炎のほか、ハンセン病とも原因遺伝子が共通していることも分かった。

## ■永久気管孔へのフィルム材貼付で

### 注意喚起

日本医療機能評価機構

日本医療機能評価機構は2月15日に公表した「医療安全情報No.123」で、永久気管孔をフィルムドレッシング材で塞がないよう注意を喚起した。

患者が永久気管孔の造設後であることを知らず、頸部の孔にフィルムドレッシング材を貼付したため、患者の呼吸状態に影響があった事例が2件報告されたことを受けての対応(集計期間:2013年1月～2016年12月)。

具体的には、患者のシャワー浴を行う際、看護師が患者の頸部の孔が永久気管孔であることを知らないまま、湯の流入を防ぐ目的で頸部の孔をガーゼとフィルムドレ

ッシング材で保護した。するとシャワー浴を開始して1分もしないうちに患者の全身色が不良となり、意識を消失した事例があった。なお、入院時の担当看護師は患者が永久気管孔の造設後であることを看護プロファイルに入力していた。事例が発生した医療機関では現在、電子カルテやカンファレンスを活用して、患者が永久気管孔の造設後であることを情報共有する取り組みを徹底しているという。こうした事例を踏まえ機構は、頸部に孔がある場合は、永久気管孔かどうかを確認するよう、呼びかけている。

## ■薬価制度の抜本改革に意欲

塩崎厚労相は2月15日、衆議院・厚生労働委員会でも信表明を行い、高齢者が増加し、制度の支え手である若年世代が減少するなかで、世代間および世代内の負担を公平化するには、医療保険制度の見直しが急務であることを強調。薬価制度改革にも言及し、「国民負担の軽減と医療の質を確保する観点から薬価制度の抜本改革に取り組む」と述べた。

ICTの利活用では、健康・医療・介護関連データを収集・分析し、予防医療や生活習慣病対策、治療法の開発、創薬に役立てていく必要性を指摘。そのための基盤整備として、社会保険診療報酬支払基金などの審査支払機関や民間事業者が保有するデータを連結したうえで、膨大な健康・医療・介護情報を管理・分析するデータプラットフォームを2020年度までに整備する方針を明らかにした。

受動喫煙対策では、2020年の東京五輪・パラリンピックに向けた体制整備として、「受動喫煙対策を徹底したい」と表明。罰則規定を盛り込んだ健康増進法改正案を国会に提出する考えを改めて示した。

**Santen**

抗アレルギー点眼剤

**アレジオン®点眼液0.05%**

ALESION® Ophthalmic Solution 0.05%

エビナスチン塩酸塩点眼液

●「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元 参天製薬株式会社  
大阪市北区大深町4-20  
資料請求先 医薬事業部 医薬情報室

総代理 日本ペーリンガー・インゲルハイム株式会社  
東京都品川区大崎2-1-1

2014年11月改訂 AL14K0085WB-A

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会  
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F  
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228  
HP: <http://www.jenti.or.jp> E-mail [jimu@jenti.or.jp](mailto:jimu@jenti.or.jp)